

議 事 録

- 1 会議名 平成26年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会
- 2 日時 平成26年9月2日（火）10:00～12:00
- 3 場所 さぬき市役所301会議室
- 4 出席者 浅川委員 上原委員 柿木委員 亀井委員 木村委員 小山委員
多田委員 筒井委員 橋本委員 南田委員

(事務局) 向井課長 津村係長
- 5 傍聴者 0人
- 6 会議次第
1 開会
2 会長あいさつ
3 議事
 (1) 男女共同参画推進活動事業報告
 (2) 第1次男女共同参画プラン後期基本計画進捗状況調査結果について
 (3) 男女共同参画講演会について
 (4) 今後の会議スケジュールについて
4 その他
5 閉会
- 7 配布資料
資料1：平成26年度男女共同参画週間パネル展をふりかえって
資料2：男女共同参画防災セミナー「ひとりのときに地震が来たらあなたはどのようにする？」
 をふりかえって
資料3：平成26年度DV・児童虐待防止キャンペーンの実施報告書
資料4：平成26年度男女共同参画推進活動事業採択事業一覧
資料5：さぬき市男女共同参画プラン後期計画推進施策の実施状況及び基本施策に係
 る各目標の進行状況（平成25年度）
資料6：第1次さぬき市男女共同参画プラン後期計画基本施策に係る各目標の達成度
 評価一覧
資料7：平成26年度さぬき市男女共同参画講演会実施要領
資料8：平成26年度若者に向けたDV防止啓発講演会開催要項・
 レディース・ファーマズ・フォーラム開催要領

8 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
事務局	<p><開会 10:00></p> <p><開会挨拶></p> <p>本日はご多忙にもかかわらずご出席を頂きお礼申し上げます。平成26年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会という事でお集まり頂いた。開会をさせて頂く。最初に筒井会長からご挨拶を頂き、引き続き議事に入って頂きたいと思うので宜しく願う。</p>

会長	<p>早速議事に移りたいと思う。議題1、男女共同参画推進活動事業報告についてだが、報告している内容は次第に書かれている。今までに行った3つの事業と、市民企画事業の審査結果となっているので、事務局は4つ続けて報告していただきたい。</p>
事務局 会長	<p><事務局説明> 資料1から資料4 参加された方もたくさんおられると思うので、感想や改善点があれば伺いたい。参加されなかった方で詳しく聞きたいという方もご意見頂ければありがたい。</p>
委員	<p>私が所属しているグループは友好の翼の会なのだが、パネル展示だけではなく、今年は当番表に沿って必ず当番することに取り組んだ。当番をしてそれぞれをじっくり見ることと、自分達が発表した事について説明ができればと思ったからだ。感想の中にもあったが、会の中でもパネル展にあまり関心が無かった方がいたが、他の会の展示・出展の内容もよく分かったので良かったという声があった。今年初めて中学生の公民の教科書のコピーを展示していたが、これは良い点だったと思う。母親方が来られた時に、私達が教科書の内容を展示することについてどう思うか聞いたところ、母親方も、子どもがこういう事を学んでいるという事は初めて知ったという事だった。美術の担任の先生も来られたので意見も聞くことができ、当番をしてすごく良かったし、来た人と話をすることで、じっくり見てくれたかなと思う。また、他の団体と交流があり、パネル展についての当番とかこういうのをいつしているという事は他の会員は全く知らない人が多い。役員は知っていても、会員までは行き渡っていないので、もう少しパネル展を行っているという事を、行政からもグループの方からもPRして頂いたらいいかなと思う。せつかくとてもいい内容だったので、PRの方法を考える必要があるのではないかと思った。</p>
委員	<p>今日それぞれの会で資料を示されているが、資料の整理・作成については大変だと思う。資料1から4まで説明頂き、それぞれ聞いていて、作成している人の立場から言えば、私達がどういう考えを持てばいいのか、実践して行く為にはどういう事に取り組みばいいのか、という願いがあるように思う。では、どう具体化していくか、詳しい事は私は言わない。項目だけを言う。家庭生活・地域・所属団体でどうすればいいかを後で時間があれば私の考えを言う。</p> <p>まず資料1のポスターだが、学校現場ははっきりいって多忙である。最近の先生方に会い、話を聞いても想像できない程忙しい。その中でポスターをお願いするとなれば大体ポスターのパターンが決まってきた。幼・小・中に行って、貼ってある絵を見たら、わざわざ男女共同参画という言葉を入れなくても十分に見れば分かる絵があると思った。ある学校ではその絵をいただきたいと言ってある。その絵には、男子と女子が一緒になり色々な行事をしている様子が描いてある。これは考え方によると「男女共同参画」、お互いに力・知恵を出し合い一つの学校生活をしていくという事になる。ある時期がきて、学校に「ポスターを描いて下さい。」と言っても受けてくれないのは当然だと思う。だから、幼稚園・小学校・中学校でも絵の中に男女が手を繋いで一緒に競技している絵があるので、そういうポスターをオープンスクールの時に行き、そういうポスター等を見つけて借りられるかどうか、そういうポスターが男女共同参画のパネル展に出せるかどうか、を考えるという事をしてはと思う。</p>
会長	<p>幼・小・中の平常時の絵の中に使えるポスターがあるのではないかということによるしいか。</p>

委員	<p>それでいい。実際に絵を借りてきて今日持って来ればよかったが、見方によれば男女共同参画社会を作ろうという言葉を出しているが、そういう言葉でなくても日常生活の中で見ればある程度分かるような、そういうものが幼・小・中に行って歩いてみれば案外ある。そこまで許容できるかどうか。やはり男女共同参画という言葉がなければパネル展には出せないのか。見る人によれば男女が力を合わせてやっけて、それがずっと大きくなっていくと自然と力を合わせて何事もしていこうという見方につながるのではないか。そういうものを提示することによって、見る人が、あっ、と思うだろう。</p> <p>見る人によって解釈は違って来るだろうと思う。しかし、それでいいのではないか。なぜ私がそう言うのかというと、中学・高校にポスターをお願いするというのはもう限界だと思うからだ。だから、学校現場をお願いする前に、従来あるポスターの中から選んで展示してみるというのも一つの方法でないか、という事を前回申した。そういう方法も考え、同じ形でずっと行くというより、柔軟性を持たせて変えていくことがこれから大事ではないか。</p>
会長	<p>ポスター提出については、いつも市から中学校に依頼をする形だったのか。</p>
事務局	<p>そうだ。2・3年前に美術部の先生から2月頃を書くものが少ないという事を伺い、1月下旬から2月の初め頃に各学校校長宛にポスターを出して頂けないかと文書でお願いをしている。</p>
会長	<p>その結果、あがってきたのをパネル展で使っているのか。</p>
事務局	<p>そうだ。</p>
会長	<p>現場の方からはちょっと厳しいなという感じか。</p>
事務局	<p>提出する学校数を見てもらうと分かるように、美術部がない学校は参加は厳しい。常連であった南中が今回の提出は難しいという事だ。また、志度と志度東中だが、統廃合の関係で来年度は志度中1校になるのではと思っている。だが、例年さぬき市が依頼してくることを理解してくださっている担当の先生もいるので、依頼は続けていきたいと思っている。しかし、先生の異動もあるので、委員が言われるようにゼロになるという危機感は、担当レベルでは持っている。その時に無理やり描いてくださいという事も言えないので、その際には、市で保管している今まで提出してもらったポスターで対応しながら、中・高生ポスターの展示は継続していこうとは思っているが、次の一手を考える必要はあるとも思っている。市の方で各学校を巡り、ポスターを展示させてもらえないか、というピックアップはなかなか難しいと思うので、委員の皆さんでどのようなやり方が出来るのかというのをご審議頂き、一緒に作り上げて頂ければ、市としても市民参加型のパネル展という事でなお一層のPRが図れていくのではと考えている。</p>
委員	<p>私も全然そんなことを考えてはいなかった。従来どおりポスターをお願いして集まったものでいいと思っていた。ところが、学校の現状もいろいろ考えてみて非常に難しいということで、「男女共同参画社会を作りましょう」という文言がきちんと入ってなくてもそれにあてられるものはないかということで、オープンスクールに何気なく行った時に展示してあるものを見ていたら気がついた。男女共同参画のポスターに代わるものはないだろうかと見ていたらそのようなポスターがあった。だから、ある</p>

事務局	<p>中学校では、この絵を置いておいてほしいと言った。どうするのかと言われたので、それは具体的になってからお願いするが、この絵をもう少しゆっくりみたいからと言って置いておいてくれるように頼んだ。私は、そのような方法を考えついたので、皆さんも幼・小・中に行く時に、共同参画に関するもので何か使えるものがないかという考えで見えていたら案外あるかもしれないと思う。</p> <p>人権推進課が毎年ポスターを学校に依頼している中に、男女共同参画のテーマを1つ増やすという事を考えてはいるが、掲示期間が違う。同和関係は秋であり、こちらのパネル展の期間まで借りておくという事を調整しないといけない。男女共同参画パネル展を秋に持っていくという事は出来ないで、ポスター関係だけは秋に持っていくとか、ずらす事もどうするのかとか、借りておくのがいいのかなど、難しい問題がある。</p>
委員	<p>ポスターがあると華やかだ。</p>
委員	<p>そうだ、すごく。お母さん方とか子供が来てくれる。</p> <p>ポスターをいつも出してくれるのが南中と志度中で、今年は一方だけだったので残念だったかもしれないが、きちんとお母さんや子供は見に来てくれてるし、先生方は来年も頑張らなくては、と言っていた。それと、ずっとポスターを見ているが、私は子供のとらえ方が変わってきていると思う。以前はイクメンパパが全部だったと思う。男の人がいろんなものを抱えて料理するという絵も多かったが、最近は仲良くというのが多くなっている気がする。流れを見つめるのも楽しみではないかと思うので、絶対に中学生のポスターは必要だと思う。</p>
委員	<p>学校は色んな所から色々な物を言われる。男女共同参画のポスターを出してくださいね、人権ポスターを出してくださいね、教育委員会から何とかしてくださいね、とか、色々な団体から色々な依頼が来るが受ける側は1つしかない。向こうは1つしかお願いをしていないが学校としては色んなところから色々な依頼が来てどうしようかと言われた時に難しい。ここを引き受けたらこちらも引き受けないといけないという事もあり、なかなか難しい。これからは従来のものについては仕方なく続けていくことは可能だが、新たに何かを求められるのは苦しい。男女共同参画は大事なことだと思うが、どういうものを持って男女共同というのか、委員の言うように男女が仲良くなって1つの事をするというようなとらえ方をしていくのか、という事を含めて考えて頂かないと多分学校に持って来られても難しいと思う。今で筒一杯なのが学校の現状だろうという事をご理解して頂きたい。</p>
委員	<p>質問だが、学校教育のカリキュラムの中に男女共同参画という事は入っているのか。</p>
委員	<p>言葉は違うかもしれないが、男の子らしさ・女の子らしさとかに縛られてはいけないというような意味合いを込めて、位置付けがあると思う。</p>
委員	<p>そういう学校の取り組みの中に、例えば、俳句・絵画・作文で表現しなさいというシステムがあればそこから取り上げていけるが、そういうシステムはないよということか。東中学の体育館に川柳が載っていて、結構面白いものがある。これは使えると思ったのがある。学校の教育カリキュラムの中にそういうのがあり、作文・絵・俳句・川柳の中から借りてきてそれを表現させてもらう。それならば仮に半年・1年という</p>

委員	<p>のであっても問題ないだろう。むしろより多くの学校から頂けると感じる。</p> <p>例えば、俳句や川柳は国語の中での位置づけが一般的と思うが、その時にするという事か。しかし、その学年とかその子供に合った表現のしやすさというものがあり、そこが第一になってくるので、例えば男女共同参画について俳句で書いてと言われた時に、担任としては難しい、今は自然の事について書いてもらう方が大事ですという事は起きうると考えられる。</p>
委員	<p>その辺で我々やっていく側と日常的な教育の現場における側との関係が出てくると思う。教育の現場で男女共同参画としてやった時にはそれをもっと市民の方に知らせてほしい。例えば、それはうちの学校では今回は作文にしたのでパネル展で作文を展示しないかと。絵を描いたので展示しないかと。そういう関係が行政との間にできればいいと思う。今は、男女共同参画の展示会をするから提出を頼みますと行政から学校に依頼していくが、今年はカリキュラムが大変だから結構です、合併したから今後はできないと学校に言われてしまうような流れなので、その流れを逆にするような流れを作ればいいのかという気がする。難しいとは思いますが。</p>
事務局	<p>学校や企業に踏み込んで行き、色々と一緒に子供達や企業の意識を変えて行くというのは重要な活動だと思っており、毎年中学校に依頼して男女共同参画に関するDV防止の講演会を開催している。資料8になるが、今年も志度中・志度東中学校の合同研修会ということで音楽ホールにて行う事になった。これは、子育て支援課と共に行っており、子育て支援課の担当が主旨説明をして学校側が受けて下さり一緒に開催していくということになった。昨年は南中と長尾中で開催、今年はこの2校。来年もやっていきたいと思っている。以前、男女共同参画の川柳講座のセミナーをした時には、参加者に男女共同参画のことを学んで頂いた後、作品を書いて頂き、出来上がったものを翌年春のパネル展で展示した。子供達に来てもらい、男女共同参画とはこういうことだと話をした後、例えば絵を描いてもらって、セミナー報告も兼ねて絵を展示していくという取組や、学校に行かせてもらい、良ければ昼休みに啓発活動しながら子供達に絵や川柳の作品を作ってもらい、それを集めていくという取組などを今後考えていかなければいけないと思った次第である。小学校にとっては、男女共同参画は難しいとは思いますが、本当は小さい頃から無意識に意識しておかないといけない事だと思うので、先生方と相談しながら、できる範囲でやっていきたい。学校も忙しいのは分かるので、あまり負担はかけたくないが、なんとかできればと思っている。</p>
委員	<p>お互いの意思疎通が出来る様にしていくといいと思うが。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>他にご意見ありますか。</p>
委員	<p>アンケートの中に各支所で展示したらどうかとあるが、その流れは考えているのか。大変だと思うが。</p>
会長	<p>毎度、いい作品はあったのという話がでてくる。しかし、毎年スペース的な問題がありあれだけのスペースをとれる所がなく、志はあるが、前に進んでいけないのが現状か。</p>

事務局	<p>そうだ。以前、まだ天王中学校があった時代に、天王中学校のポスターが多かったので、寒川で開催している文化祭で展示してみたが、スペースの問題等があり、断念している。したがって、講演会などを行う時に、ポスターや掲示物の一部を会場に展示することで対応していきたいと思っている。</p>
会長 事務局	<p>以前、音楽ホールで講演会をした際には全部使ったと思うが。 一部展示はしたと思う。</p>
会長	<p>それは結構見てもらえたと思っている。何かの機会にスペースがあればそのスペースを使っていくというのも一つの手段だと思う。</p>
委員	<p>例えば、今度の11月24日の講演会の時に、一部を出していくという事を考えても良いかもしれない。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>質問はないか。 では次の議題に入る。男女共同参画プラン後期計画進捗状況調査結果についてだが、協議会は男女共同参画の推進状況報告を受け、より一層の推進に繋がるように提言することも求められている。平成26年度からは第2次プランの計画期間に入り、今から説明をする調査結果は過去の総括となるが、皆様にはぜひ報告を聞いた後に、2次プランの進捗状況調査をする際に使用する調査票に対するご意見を頂ければと思う。</p>
事務局	<p><事務局説明>資料5・6</p>
会長	<p>いかがか。初めて見た方はなんだろうなと思いながら聞かれたと思うが。分からないことがあれば質問していただきたい。</p>
委員	<p>私は、かねがねお願いしているが、男女共同参画推進室というのを作ってほしい。この資料の2枚目の4、施策方針決定過程の前の女性の参画拡大、その所で政策課が行政機関附属機関等に占める女性の割合を増やすという担当課になっている。%は非常に良くなっている。次の10番の啓発や相談・救済体制の抽出で市民の相談に関わる立場の人を対象に男女共同参画についての研修会を開催する。これも政策課になっている。11のプラン推進達成度評価体制の整備についても政策課になっている。しかし、きちんとした推進室なりがこういう事に対して直接取り組んで行く体制を作って頂きたい。ここにいらっしゃる皆さんにも思いはあると思うが、この協議会でどういう事をすれば、そういう室ができるような方向に見えるのか。 例えば、女性というのはどの場においても遠慮がちである。集合写真を撮る時に後ろに行くのは女性、前に座るのは男性という事を私は経験した。そこでどうしたかと言えば男性に立ってもらった。但し長老級の方は座ってもらった。比較的私の年齢に近い人には立ってもらい、女性には座って下さいと言った。しかし、女性はなかなか座らなかった。大体はやかましく言って、やっと座ってもらうことができた。でも、できあがった写真を見ればよかったねと言った。そういうことだ。少しずつ目の前にあることから取り組んでいかないとせっかく良いプランが出来ても実際の場になれば薄くなってしまう。 女性の校長が激減している。さぬき市には女性の校長は1人しかいない。教頭は1</p>

	<p>人だけである。かつて女性校長は6人いた。学校が統合により定数は減っているが、なぜなのかというと、女性は家庭と子育てがあるからだ。子育てと家庭を両立させない限り、なかなか女性が管理職やリーダーになることは難しい。それを解消して行くために男性がどうしないといけないかということ、そこを具体的に話し合わない限り、いくら立派な条文ができて、書いたことに過ぎなくなる。それを進めて行くためには行政でどこが中心になってやらないといけないかを考えていかなければならない。民間では、私たち委員1人1人がそういう事を考えていかないといけない。今回の協議会だったら、終わったらお茶の後始末を大抵女性がするだろうと思う。私はもしそうであるならば、男も一緒にやってよと言う。そう言えば男もやってくれる。そういうことから取り組んでいかないとなかなか変わらない。</p> <p>それともうひとつ。毎日の新聞の中で男女共同参画に関わる、例えば女性の地位を向上する・管理職を増やすという新聞記事はこれだけある。ある新聞社が世論調査をして女性管理職増について79%は賛成していると出ている。ところがさぬき市ではどうだろうか。こういう事をずっとしていきながら男女共同参画という言葉でなく具体的にどう取り組んでいくかということ。今朝新聞に、新しく知事になった方に要望することを8人の人が書いている。その中に、男女共同参画具体策の実行を、と訴えている団体の代表の女性の方がおり、女性活躍の場と子育てしやすい環境の推進を期待する、自治体の幹部職員や各種審議会に占める女性の割合を決めることも一策、等々と書いている。そして最後に、女性の視点は重要で地域活性化に不可欠、女性が輝く社会実現をしてもらいたいと書いてある。</p> <p>例えば、私はある団体の50年記念史を作るメンバーになっているが、そこで書く人と言えば大抵男性である。文士の割合が1人になると、男性を出す。そこで私は、2人にしてくれと言った。2人にすれば男子と女子にすれば1人ずつ書けると言った。どうしても2人にして欲しいと言うと最終的には2人になった。誰がやるか、女性に言うと女性は「はい」と言わないから初めから、この人、という人をお願いする。そうすると書いてくれる。長々と話をしたが、こういう所から取り組んで行かないとなかなか女性は出てこない。一番気をつけないといけないのは、違った見方をされるから女性が引っ込む、ということであり、背中を押しているのでは間に合わないから引っ張り出さないといけないと思う。私は、平成15年から男女共同参画の委員になり、何が変わってきたかということ、こういう話が出来ると雰囲気になったということだと思ふ。それが1つ新しく変わったことだと思ふ。最初に言ったようにこれだけのデータを作る担当は大変だと思ふ。その作成してくれたデータをどのように役に立てるようにするかということが大事だろう。細かい事をいうが、ポスターにしても、会合の後始末をする時にしても、家庭での食器洗い・洗濯にしても協力することが大切だと思ふ。家事も協力しているといろいろ言われるが抵抗せずにやってみると、こういう仕事をしているのだと理解できる。そういう事が大事だと思ふ。</p>
会長	<p>男女共同参画のベースになる話があればもっと膨らませて行くことが出来るのだろうと思うが、ご検討宜しく願います。続いてご意見があればどうぞ。</p>
委員	<p>実際この会に2回参加させて頂き、この資料を見たが、何が何だか分からない。もう少し時間を頂きたい。</p>
会長	<p>じっくり見て頂くと、結構色々な事をしているというのは分かって頂けると思う。</p>
委員	<p>はい。全くこういうものがあつたという事も知識的に無かったので、まだまだ勉強しないとイケないと思つている。</p>

会長	こういう状態だが、事務局いかがか。
事務局	平成24年度の実績を書いてどういう事をしたか、振り返った感想と来年度に向けた目標を各課に宣言してもらい、関連予算も書いて、という調査票でいいかなと事務局は思っている。市民として、パッと見たときに、こういう項目を書かず事について意味があるのかというようなご意見がないのであれば、こちらの方で整理していきたいと思っている。
委員	9番の生涯にわたる健康づくりの所でマタニティ教室への男性の参加率を増やすという所が、24年は17.2%もあるのに、25年は急激に減っている。これは私の考えだが、分母については、マタニティ教室に参加するということで、すでに妊娠されている人を対象にしているのか。それだと、その年の出生率によって参加者数が多かったり少なかったりするんで、1人の割合が高くなるから、こういう風に急に突出したり減ったりするので、あまりこの数字自体が達成目標にはならないのかと思うのだが。
事務局	まさにご指摘の通り。だから、第2次プランからはこれを外した。
委員	先ほども発言があったが、男女共同参画室の設置は是非お願いしたい。さぬき市がそこに至っていないというのは予算の問題か。
事務局	予算の問題と言うのではない。第2次プランには、期間中には設置してほしいという内容も書かれており、答申を受けた時、市長も実施するとお答えしているし、なるべく早くという事もおっしゃられていたので、早々に実現されると思っている。
委員	全国の市町村の中でそういう専門の窓口はどれくらいあるのか、香川県はどれくらいかという資料はあるのか。
事務局	こちらが知っている範囲では、高松市・丸亀市以外はない。
委員	全国では今こうなっている、全国で進んでいるところの施策はこうなっているという事をPRすることによって市民の関心が高まると思う。そうでないとなかなか簡単には意識改革は難しい。そしてもう1つ、目標値の妥当性というか、なぜこの目標値なのかという事は、専門的にしている人には分かるかと思うが、例えばファミリー・サポート・センターの会員を増やすということだが、目標値300人というのはさぬき市における子供達の割合に対してどうなのか、そういう事を積極的に行っている市との比較をして市民にアピールしていくという方法を取らないと、資料として独り歩きしているのではないか。市民のためになるような見方ができる資料を添付する、そういう方法を考えていかないといけないのではないか。
委員	添付するとすごい数になるので、結局また読まないということになる。興味のあることをネットやHPで引っ張れるようにしておけば最近の人は、スマホを上手に使いこなしているんで、情報を発信するにはHPはとてもよく、色んな所にリンクしていける。そういう感じにすればコンパクトにできる。ただ、スマホ世代とスマホでない世代で資料の扱い方が変わってくるという問題はあがる。

委員	<p>我々の世代は、全部の資料を一度にもらって、頭に入れることはできる。今の人はそれはできないが、ある項目を捉えてやれば結構面白い者もいる。</p> <p>家族経営協定の締結戸数を増やすということについて、30戸になっている。担当は農業委員会で、30戸になっているが、家族経営協定を締結したいと思っているのは100なのか200なのか。そういう事が大事である。例えば、実は今さぬき市には農家が1000あって、そのうちの30戸を家族経営協定を締結したいと思っている。その理由はなぜかと。そういうことを日常的にひとつひとつこなしていくという努力をしておかないといけないのではないかと。スマホ世代の人はパッと見てやってくれるかもしれないが、そういう風な親切さというものが出て行くとどんどん関心がこちらに向いてくると思う。</p>
会長	<p>そういうことも、資料作成時に踏まえていただきたい。</p>
事務局	<p>はい。目標値の設定はプラン作成時にできているので、それに向かって進む中での課題とかそういう事も各課に書いてもらいながら進捗管理していけるように努めていきたい。</p>
委員	<p>私は、目標値がいいとか悪いとか言っているのではない。30というのは500の内の30なのか、300の内の30なのか、ではなぜなのかということ。実はさぬき市の現状はこうですよ、と話は展開していく訳じゃないか。そういう風な事で政策と市民の意識は近づいてくると思う。</p>
事務局	<p>先ほどの専門窓口の方が、国が毎年全国的に調査を行っていて、男女共同参画・女性問題担当の窓口はどこかということ、そこは専らその事務だけをしているのか、そうでないのかということも調べている。まとまったらそれはすぐに分かることかと思っている。</p>
会長	<p>他にご意見あるか。</p>
委員	<p>アンケート評価についてだが、単なる分母と分子の%だけで内容というのはなかなか中では難しい訳だな。例えば、6番のファミサポの会員数は311人で300人の目標値なので達成という事でAになっている。しかし、内容というのは難しいと思う。ファミサポの場合だと、募集はしており登録はあるが実際に活動してくれる人はなかなか難しいし、内容も難しい所があるようなので、A評価というのはどういうA評価なのか。登録者数になっているが、有名無実の登録になっているということもある。私も登録はしたが、幽霊会員になっているのでその所が重たい。Aをもらっているのは恥ずかしい。</p>
事務局	<p>ファミリー・サポート・センターの現状課題としては、実動するまかせて会員を増やすというのが一番の課題。それがものすごく難しい。第2次プランでは、まかせて会員とおねがい会員を別にカウントするようにしている。実動は週3回以上出ているのを実動とカウントするとか、細かく分類したほうが分かりやすいが、全てにおいてそうするというのは難しいので、原課としてこの人数位までは達成したいという思いを込めた数値を目標値に設定している。先ほどの30戸もそうだが、20から30戸に伸ばす大変さは原課が一番わかっている。もちろん、目標値をクリアすることはOKであり、プランでは、最低そこまで持っていきたい値を目標値として決めている経緯がある。だから、内容まで踏み込んでいくとどうかということはあるが、人数とし</p>

	てこういう風にしかかったという思いをクリアできたという所でA評価にしている。
会長	次に移りたいがよろしいか。男女共同参画講演会について願います。
事務局	<事務局説明>
事務局	入場券配布開始日を9月19日でなく、もう少し遅くてもいいのではとか、配布枚数等についてアドバイス頂ければまだ修正可能なので、ご意見いただきたい。
会長	早めの方がいい。ただし、3連休の最終日というのが吉とでるかどうか。
事務局	音楽ホールの空がなく、杉尾氏のご都合もありその日しか駄目だった。今回は企業に声かけするつもりである。
委員	どのようなことから企業にも撒いているのか。
事務局	人権推進課のルートがあり、案内を出すようになっている。動員ではないので来るかどうかは分からないが。
委員	整理券の一番の問題はとりあえず整理券を預かっておくという形があること。高松で、個人で開催された方がいるが、小ホールでの開催予定が前日に大ホールに変更しないといけないことがあった。例えば、9月に600配布して結果出席してくれたのが300だったとしたら、どういう配り方をしているかが問題になってくる。その辺の読みが難しい。
事務局	前回の時もそういう問題があり、その際は他の部屋がおさえられなかったので600以上来たならそれはそれで困っていたが、実際はそうでもなかったというのがある。今回は全館貸し切っているのでもなんとかなる。メインホールの横で聞けるようにはできる。
委員	ここのスタッフは自分達の持ち枚数を作るか。
事務局	あまり持ち枚数を持たれるとしんどいと思うので、1人2枚まで、必要枚数で申込み頂くようにしている。確実に10人来るといっているのであれば預けるのは大丈夫だが。
会長	そういうのが大事。絶対に来てくれるので大丈夫というのが。その積み重ねだから。
事務局	そうですね。
会長	ここにあるメンバーはご参加頂きたいということで、この位でよろしいか。当日は全員で手伝う必要はあるのか。
事務局	いいえ、手伝いはそんなになくてよいと思う。もぎりが出来る方がいればという程度。花も今後協議になるので、具体的な作業としてはそんなにない。
委員	時間に余裕のある人がいれば手伝って頂いてということで。

事務局	そうですね。協議会の方にもお手伝い頂いてます、というのが分かれば市民も一緒にやっているのだというのが分かると思う。講演会には是非来て頂きたい。良い話だと思うので。要約筆記の方は左側の2列ですよね。
委員	客席に向かって左2列です。
事務局	そうですね、わかりました。
会長	出来るだけ参加して頂きたいという方向でよろしいか。
委員	パネル展の一部は持っていくのか。
事務局	ポスターは持っていこうと思っている。また、団体・保護者にチラシを配布できる機会があれば教えて頂ければ枚数をお送りさせて頂く。このブルーのものについてはご意見がなく、19日から等の変更点はないと思うので目立つ所に張って頂ければありがたい。
会長	参加者はさぬき市の人には限っていないのか。
事務局	限っていない。例えば、大阪からでもOKだ。
会長	それでは次、今後の会議スケジュールについて。
委員	10月1日の若者に向けたDV防止啓発講演会、これは中学校だが我々も入れるのか。
事務局	これはもう一杯である。先生方も来られるのでパイプ椅子で一杯になるが、もしパイプ椅子くらいでちょっと見る位でいいというのなら大丈夫だと思う。
委員	それ位でいい。
会長	講師の方はいい先生で、去年も長尾も南中もこの先生だった。
委員	中学生がどういう反応を示すかを肌で知りたい。
事務局	後でその他で説明させて頂きたい。
会長	次回の会議スケジュールはどうなるか。
事務局	おそらく12月か1月位になるかと思う。講演会も終わり総括も含め第3回目を開催させて頂きたいと思っている。また案内する。
会長	その他、をお願いします。
事務局	前回年間スケジュールを説明させて頂いた時に、他の課とのコラボ企画を考えていると説明したが、その具体的なものが2つ。 資料8の1枚目、10月1日午後、志度音楽ホールで志度中学・志度東中学の合同

	<p>研修会として全校生徒・先生方を対象にした若者に向けたDV防止啓発講演会を開催する。演題が「大切なあなたへ」という事で市場恵子先生をお迎えしてお話をして頂く。途中で、ギターを弾き、歌を歌ったりもする。前回、長尾・南中で講演した時も好評であり、今年も開催したいと思っている。子育て支援課と一緒にやる。500席しかなく全校生徒が来て先生方は後ろでパイプ椅子を出すというのを聞いてるので、一般参加はないが、もし委員で参加希望の方はお声かけ頂きたい。</p> <p>次に2枚目について。レディース・ファーマーズ・フォーラムという名称で、農業委員会とのコラボ企画である。農業委員に女性を、とか、6次産業活性化とか、今、農業されている半数位が女性で、各々頑張っているが、男性が前に出ているという現状をどうにか打破していきたいという女性の農業委員の思いもあり、今回初めてこのような形で開催することになった。9月5日、8:30～昼すぎまで、寒川農村改善センターで開催する。主催がさぬき市・農業委員会・石田高校。今回、石田高校の生徒が来られる。講演会・グループワークを開催。講演は森安かんなさんで、その分野では有名な若手女性農業者の方。2人目が飯田さん。長尾の飯田農園で頑張られている方である。そのお二人の講演を聞いた後、グループ討議を行う。参加者は市内女性農業者・石田高校希望生徒・農業に興味のある女性という事で100人程度は参加予定である。10名程度で割り振り、高校生・地域女性を交えながら女性・若者目線で農業再発見、こんなものができたら・こんなものが作れたらいいのにな、という事を話していく。その後に発表会をして色々な思いを持ち帰って頂く予定。このようなファーマーズフォーラムを開催することになった。</p>
会長	何かご質問等ないか。
委員	レディース・ファーマーズ・フォーラムというのは、オール女性か。
事務局	生徒は男性もいる。
委員	了解した。
事務局	学校も喜んでくれている。どちらの企画も特に石田高校の方は毎年継続してできればいいという話になっている。農業委員会の方が主体となって動いていくと思うが、政策課としても見守って行きたいと思っている。
委員	今後、こういう政策を考えてみればどうか、くらいのことはアンケートとかで聞いておいた方がいいかもしれない。ただ、それは農業委員会の方がすると思うが。
委員	<p>11月24日講演会の前日、11月23日。男女共同参画企画の関係でプチマルシェという項目があったと思うが、それについては、あとで配らせていただきたい。</p> <p>それと男女共同参画のデートDVの方だが、県の企画により11月21日津田中学校で開催する。神戸大学などで非常勤講師をされている方をお呼びし、津田中学生とデートDVと一緒に考えて行こうという内容で講演会を行う。近くなれば県のホームページに掲載されると思う。お近くの方で良ければ平日の午後だが参加していただきたい。男の人からデートDVの話聞くというのはあまりない機会だと思う。DVというのは女の人が、ということが多いので、また違う見方で違う発見があるのかと感じている。</p>
委員	男女共同参画企画の中で先ほど委員から言われた、洗濯・料理・片づけをしますと

事務局	<p>いう男性が増えるというのは、この政策の中でいうとどこに該当するのか。</p> <p>家庭や地域における男女共同参画の推進になるが、第1次プランの時には子育て支援の促進・介護・介助に視点がいていたので、難しい、読み取りづらかなかという気はする。後は、仕事と家庭生活の両立支援という所で、施策の柱と言えは多様な働き方を支援するための仕組みづくりということにはなるが、家庭生活では、家事などに一緒に取り組もう、という意味でつながってくる。明確に感じられる方とそうでない方がいるような内容になっていたので、第2次プランでは視点を変えた書き方している。5年に一度アンケートを実施する中で、家庭でどういう取り組みをしているのかという事を具体的に聞くようになっている。</p>
委員	<p>若い保護者の方について、通常の形で入学式の記念写真を撮るセッティングをしていたら、お父さん達が来られて急に大きくするようになるとか、座席についても120用意していたら、今までは祖父祖母がたくさん来られていたが、父親がたくさん来られるという事になって、そういうところを見ると、きっと家の中でも家事の分担が明確になってきているような気がとてもしていた。だから、先の委員の話聞きながら考えている時に、家事の分担は子育て支援の分野かな、と思った。日常的なものが本当は大事なのかという気もしているので、どこにあるか聞かせて頂いた。</p>
会長	<p>もともと扱っていたのは、ワークライフバランスで一番初めに扱っていたが、それが介護や子育てというように広がりを見せていった、ということだろう。介護は特に大変だが。</p>
事務局	<p>一番初めの考え方としては、固定的な性別役割分担意識を無くすということになる。女性が家事、男性が外で働く、という意識を無くしていこうというので取り組みを進めていていたので、その時にはそういう内容の講演会をするなど、その分野の意識啓発にわりと集約した。その中でワークライフバランスの考え方が出てきて、その中で家事・育児の分担という具体的な所に掘り下がってきたということである。特に若い世代の方については、委員がおっしゃるようなそういう事を分担できているのだから男女共同参画の推進は必要ないのではないかという意見が出てくるようになったが、そういう一端の内容で男女共同参画が進んでいるという理解では苦しいし、違う。第2次プラン策定のと看に、進んでいないことがどれだけあるかということ考えたとき、少なくともこれだけあると出てきている。ポイントが薄まっているというか、広がりを見せているということで分かりづらいかもかもしれないが、でも、身近で、感覚的に分かる内容というのをより広めていくというのは男女共同参画の推進に大切だと思うので、今後も啓発のやり方を考えていきたいと思う。</p>
委員	<p>長尾でもお父さん達がおいでになった。</p>
委員	<p>はい。お母さんも含めて両方。</p>
委員	<p>増えた。だから最近は椅子が足りなくなった。</p>
委員	<p>前は祖父・祖母が来るのが、今では父親・母親ご夫婦で来られる。</p>
委員	<p>イベントの時は行きたいが、日常の家事はしないという。今の若い父親は子供の事に対して関わっていききたいのでイベントの時は結構来ている。しかし、自分の好きな</p>

	<p>時に出て嫌な事は妻、というのもあるので、やはりいろんな事で一番大変な事を手伝ってくれるのかくれないのかという問題もあるのではないか。</p>
委員	<p>若い人と年を取った人の考えで違うのは、若い人は共倒れという事をあまり考えないということ。亡くなる、独りになるということもあまり考えていない。しかし、私達の年齢になるとお互いに支え合って行かないと生きていけない。そうなってくると男女共同参画云々というよりは、目の前で10の力で働くものを自分が3でも加わっていけば7で済む、そういう考えで生活していくわけだ。皆さんにとってはまだ遠い話だと思うが、今から40年位したら私のような思いになるだろう。</p>
会長	<p>若い人が委員のような考え方で理解してくれる人が増えてきたら、そういう問題はなくなるが。</p>
委員	<p>例えば松原に遊びに来ていて父親が子供を抱いて母親がそれについていっているのは良いなと思う。前は女性が子供を抱いたりおんぶしたり手をひいたりしていたが、最近は子供を抱いたり手を引いたりする父親が案外いる。</p>
委員	<p>それはその人がしたいからじゃないかな。</p>
委員	<p>それもある。したいからだろう。</p>
委員	<p>それは子供の教育を二人でやるというのではなく、自分の趣味ですよ。</p>
委員	<p>個人的な趣味かもしれませんね。</p>
会長	<p>では以上で、第2回男女共同参画推進協議会を閉会する。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;"><閉会 12 : 00 ></p>